

# 教育出版発行の音楽科教科書における題材構成に関する研究

—昭和55年以降の小学校及び中学校教科書の分析を通して—

石 津 誠

(本講座大学院博士課程前期在学)

## Research on Theme Composition in Music Textbooks Published by Kyouiku-Shuppan: Analysis of Elementary and Junior High School Textbooks after 1980

Makoto ISHIZU

### I はじめに

音楽科においては、数時間の授業を構成する学習のまとまりを指す言葉として「題材」が用いられる。この「題材」の構成原理によって、各時間の授業の内容は影響をうけることから、教育課程を編成する際に重要な役割を果たすものである。

文部省が発行した資料では、『小学校音楽指導書』（1960）で初めて「題材」の記述が見られる。ここでは、題材の取り方について、①楽曲（教材）による題材、②音楽的なまとまりによる題材、及び③生活経験的なまとまりによる題材、の3点が示されている<sup>1</sup>。3種類の題材のうち、①楽曲（教材）による題材が最も一般的に用いられるものであると記述されている。

一方、1980年の『小学校音楽指導資料 指導計画の作成と学習指導』では、題材の設定について異なった見解が示されている。ここでは、題材の取り方について（1）主題による題材、及び（2）楽曲による題材、の2点が挙げられている<sup>2</sup>。ここに挙げられている「主題による題材」を構成するまとまりには、「音楽的なまとまり」と「生活経験的なまとまり」の2つの種類があると示されている。「主題による題材」にはこの2つの性格が含まれていることを考えれば、『小学校音楽指導書』の分類とはほぼ同一の分類をしているといえる。しかし、『小学校音楽指導資料 指導計画の作成と学習指導』では、内容の系統性・発展性を重視するという観点から「主題による題材」の有効性が示されている。『小学校音楽指導書』においては、「楽曲による題材」が中心であったが、『小学校音楽指導資料 指導計画の作成と学習指導』では「主題による題材」が中心となっており、題材構成観に大きな変化があったといえる。

それでは、教科書ではどのような題材構成がされているのであろうか。教科書における題材構成を取り上げたものに、高須（1990）<sup>3</sup>、三村ら（2010）<sup>4</sup>がある。

高須（1990）は、小学校及び中学校の教科書に対応する教師用指導書を取り上げ、「楽曲による題材」及び「主題による題材」をそれぞれ検討し問題点を指摘している。「楽曲による題材」では、1楽曲中で取り扱う学習内容が多すぎる点と、楽曲間の関係が希薄であり系統性・段階性に欠く点を挙げている。「主題による題材」については、「主題」という用語の概念が曖昧な点、主題と教材曲が結びついていない点、及び主題の意図する事柄を明確に教えていない点を挙げている。複数の出版社を扱ってはいるが、出版年に関する記述がない。また、指摘されている問題点のうち、その根拠が明確に示されていないものが存在する。

三村ら（2010）は、教科書における題材構成と教育内容を明らかにするため、教科書及び教師用指導書の分析を行っている。ここで対象としている教科書は、2005年に発行された教育芸術社の『小学生の音楽』とそれに対応する『指導書 実践編』『指導書 研究編』に限定されている。

以上のように、音楽科教科書における題材構成についての研究は、ある時代の教科書を取り上げるにとどまっている。そこで本研究では、音楽科教科書の題材構成を歴史の変遷を追って分析し、その特徴を明

らかにすることを目的とする。

「主題による題材」の記述が初めて現れるのは、昭和52年改訂学習指導要領の施行に際して発行された教科書である。これ以前の教科書では、「楽曲による題材」のみであり、「音楽的なまとまりの題材」や「生活経験的なまとまりの題材」は見られない。したがって、出版年は、昭和52年改訂学習指導要領期以降の教科書を対象とする。学習指導要領改訂ごとに、教科書の記述が大きく変化する。そのため、昭和52年、平成元年、平成10年、平成20年の学習指導要領改訂ごとに、改訂直後に発行されたものを扱うこととする。

題材を分類する際には、本研究でも、「音楽的なまとまりの主題による題材」「生活経験的なまとまりの主題による題材」「楽曲による題材」の3種類の区分によって分析を行うこととする。

それぞれの題材の特徴について、資料に記述されている内容を以下の表1にまとめた。また、平成20年版学習指導要領期との比較のため、金村ら(2009)<sup>5</sup>を比較対象に入れている。

表1 各資料における題材の特徴

	音楽的なまとまりの主題による題材	生活経験的なまとまりの主題による題材	楽曲による題材
『小学校音楽指導書』(1960)	音楽的なまとまりを題材として構成する方法。	児童の生活のうち、比較的音楽学習の豊かな題材を取り上げて学習活動を進めるもの。	楽曲を題材として配列し、鑑賞・歌唱・器楽・創作などを有機的、総合的に展開するもの。
『小学校音楽指導資料指導計画の作成と学習指導』(1980)	主として音楽の要素的なものを対象として、学習を構成するもの。	季節、行事などを中心とし、生活とのかかわりを取り入れて構成するもの。	1曲を集中的に、多面的に掘り下げていくもの。
金村ら『小学校学習指導要領ポイントと授業作り』(2009)	学習指導要領に示された各学年の目標、表現及び鑑賞の各指導事項を直接的に関連付けて導き出す。	季節、学校行事、生活科や道徳など他教科や領域とのかかわりを中心として、生活とのかかわりを取り入れて計画するもの。	主題による題材で扱う学習すべてを統合して単独の楽曲で行うこととなる。音楽のよさや美しさに迫ろうとするものである。

いずれの資料においても、それぞれの題材はほぼ同じ特徴を示している。表1を参考に、本研究では次の規準により分析を行うこととする。

「音楽的なまとまりの主題による題材」は、音楽の要素や、音楽の目標をまとまりとして構成されているものである。

「生活経験的なまとまりの主題による題材」は、児童の生活とのかかわりを中心として構成されているものである。

「楽曲による題材」では、1曲の教材を中心としてその中で、複数の領域や内容の学習を多面的に行っているものである。

## Ⅱ 昭和52年学習指導要領施行に伴って出版された教科書及び教師用指導書

### 1. 『小学音楽』

本節では、教育出版発行の『小学音楽』を分析する。『小学音楽』には、2種類の年間指導計画が示されている。一方は「楽曲による題材」によって構成された年間指導計画で、もう一方は「主題による題材」によって構成された年間指導計画である。

どちらの指導計画においても、主要教材は同じである点や、各時の指導計画は1種類しか存在しておらず、授業者の考え方によって、どちらの題材構成をとることもできるという構成をとっている。「楽曲による題材」のみで構成された指導計画は、昭和43年版学習指導要領期以前の教科書の構成と同一である。本研究では、新しい題材構成観を見ることを目的としていることから、「主題による題材」の部分のみを対象に分析することとする。以下の表2は、学年ごとに、扱われている題材の主題について、題材数をまとめたものである。

表2 昭和55年発行『小学音楽』に見られる題材の種類

学年	リズム・拍	ふし・旋律	和音の重なり・	音の重なり・	合唱・合奏	情景	楽器	旋法 旋律の感じ・	演奏の工夫	調	構成	演奏形態	ジャンル	歌い方	季節の歌	卒業の喜び	わう 全体的に味
第1学年	4	1			2	4	1								1		
第2学年	4	2			5	2	1	1							1		
第3学年	2	2			4		1	2	1						1		
第4学年	3	1	2					2		3		1	1	1	1		
第5学年	2	1	4			3		1		1		1	2	1	1		
第6学年	1	1	2	1	1	1		1		1	1		3	3	1	1	1

「リズム・拍」「ふし・旋律」の題材は、全学年で扱われている。しかし、少数の学年でのみ扱われている題材や、学年が上がると消えたり、再び現れる題材が見られる。また、年間で2～4の題材が扱われていることが多く、学年で集中して取り上げられている題材があることが分かる。低学年では「リズム・拍」に関する題材、高学年では「音の重なり・和音」に関する題材が多い。低学年に比べ、高学年では題材の種類が多岐にわたっており、幅広い内容を学習していることが分かる。「季節の歌」「卒業の喜び」の題材では、「生活経験的なまとまりの主体による題材」が見られる。

1題材1楽曲で構成されている題材は、第1学年から第6学年まで合わせて24題材見られる。これらの題材は、主題による題材と称しているものの、「楽曲による題材」の構成を取っているものと考えられる。鑑賞共通教材は18題材設定されているが、そのうち12題材は1題材1楽曲で構成されている。「楽曲による題材」のうち、鑑賞共通教材の占める割合が高くなっている。

## 2. 『中学音楽』

本節では、教育出版発行の『中学音楽』を分析する。『中学音楽』では、楽曲を題材とした年間指導計画と、主題を題材とした年間指導計画の2種類が掲載されている。題材構成観を見るため、主題を題材とした年間指導計画を対象に分析することとする。以下の表3は、学年ごとに、扱われている題材の主題について、題材数をまとめたものである。

表3 昭和56年発行『中学音楽』に見られる題材の種類

学年	リズム・拍	旋律 フレーズ・	和音	構成	合唱・合奏	演奏形態	ジャンル	情景	歌詞と音楽	創作
第1学年	1	1			2	2	2	2	1	1
第2学年	1			3	1	2	3		1	1
第3学年			1	1	1	1	3	1		1

「ジャンル」「演奏形態」の題材が多くあり、様々な種類の音楽を扱おうとしていることが分かる。また、「創作」の題材が各学年1題材ずつあり、この時期の他の教科書にはない特徴が見られる。音楽の諸要素に関わる内容では、全学年で扱われている主題は見られない。

1題材1楽曲で構成されている題材は、「創作」の題材で見られる。この題材以外では、複数楽曲で題材を構成している。『中学音楽』では、鑑賞共通教材は全て「主題による題材」で構成されている。

## Ⅲ 平成元年学習指導要領施行に伴って出版された教科書及び教師用指導書

### 1. 『新版小学音楽』

本節では、教育出版『新版小学音楽』を分析する。本教科書では、昭和52年学習指導要領期の教科書と異なり、年間指導計画は「主題による題材」の構成のみが見られる。以下の表4は、学年ごとに、扱

われている題材の主題について、題材数をまとめたものである。

表 4 平成 4 年発行『新版小学音楽』に見られる題材の種類

学年	リズム・拍	ふし・旋律	音の重なり	音色	合唱・合奏	調	楽器	情景・曲想	強弱	発声・歌い方	日本・世界の音楽	演奏形態	遊び歌	創作	声を合わせて歌う	動物	季節の歌	卒業の喜び
第 1 学年	4	1		2			2	1	1				1	1	2	1	2	
第 2 学年	3	1		1	2		1	2					1	1	1	1	2	
第 3 学年	3		1		3		1	2		1	1			1			1	
第 4 学年	3		2		1	1		1		2	1	1		1				1
第 5 学年	2	1	1	1	4			2		1	1				1			
第 6 学年	1	1		1	2	1		3		1	2	2						1

「リズム・拍」「情景・曲想」の題材は、全学年扱われている。しかし、その他の題材は、全学年では扱われていない。低学年では、「リズム・拍」「音色」のような基礎的な内容が見られる。高学年では、「調」「日本・世界の音楽」「演奏形態」のように、発展した内容が扱われている。

また、「生活経験的なまとまりの主題による題材」について見てみると、「遊び歌」「声を合わせて歌う」「動物」「季節の歌」など、低学年で多く見られる。第 6 学年では、「卒業の喜び」を扱った題材も見られる。

1 題材 1 楽曲で構成されている題材は、第 1 学年及び第 2 学年で 3 それぞれ題材、第 3 学年で 2 題材、第 4 学年以降はそれぞれ 4 題材ずつ見られ、合計で 20 題材である。そのうち、歌唱共通教材又は鑑賞共通教材は、5 題材のみである。内実としての「楽曲による題材」は比較的多く見られるが、共通教材の割合は少なく、他の教材とともに題材の中で扱われていることが分かる。

## 2. 『新版中学音楽』

本節では、教育出版発行の『新版中学音楽』を分析する。本教科書では、年間指導計画は「主題による題材」のみの計画が示されており、昭和 52 年学習指導要領期の教科書と異なっている。以下の表 5 は、学年ごとに、扱われている題材の主題について、題材数をまとめたものである。

表 5 平成 5 年発行『新版中学音楽』に見られる題材の種類

学年	和音	歌詞と旋律	演奏形態	合唱・合奏	構成	情景	音色	ジャンル	創作	歌い合わせる喜び	季節の歌	期待と希望
第 1 学年		1	4	4	1			2		1	1	
第 2 学年	1	1	1	2	1		1	3		1		1
第 3 学年		1	1	3		1		3	1			1

「リズム・拍」や「ふし・旋律」に関する題材が見られない。第 1 学年から基礎的な内容よりも、発展的な内容が扱われている。「歌詞と旋律」「演奏形態」「合唱・合奏」「ジャンル」に関する題材では、全学年で扱われている。特に「合唱・合奏」「ジャンル」は多くの題材が見られ、集中して扱われている。「生活経験的なまとまりの主題による題材」は、「歌い合わせる喜び」「季節の歌」「期待と希望」の題材で見られる。特に「期待と希望」の題材は、卒業と関連した第 3 学年のみならず、第 2 学年でも扱われている。

『新版中学音楽』では、1 題材 1 楽曲の題材は見られず、全ての題材は複数の楽曲で構成されている。

#### IV 平成10年学習指導要領施行に伴って出版された教科書及び教師用指導書

##### 1. 『小学音楽 音楽のおくりもの』

本節では、教育出版発行の『小学音楽 音楽のおくりもの』を分析する。『小学音楽 音楽のおくりもの』の年間指導計画は、題材により構成されている主要部分と、主要部分を補充するための教材が示されたオプション部分の2つの部分から構成されている。オプション部分には、題材は示されておらず、取り扱いの時間数も明確になっていない。したがって、題材について記述されている主要部分のみを対象に分析を行うことにする。以下の表6は、学年ごとに、扱われている題材の主題について、題材数をまとめたものである。

表6 平成14年発行『小学音楽 音楽のおくりもの』に見られる題材の種類

学年	リズムと音	階名	音色	和音	情景・曲想	日本の音楽・世界	楽器	合奏	構造	音楽会	季節の歌	景色・情景の歌	友達と歌う
第1学年	1		1		1						1	1	1
第2学年	1		1							1	2	1	1
第3学年		1				1	1	1	1		2	1	
第4学年	1					1		1	1	1		3	
第5学年				1		1		1				2	
第6学年				1	2	1						2	1

「音楽的なまとまりの主題による題材」は、全学年で扱われている題材がない。少数の学年で扱われるにとどまっていたり、一度現れたものが消え、学年が上がると再び扱われるようになっていたりしている。また「構造」のように、発展的な内容の題材についても、高学年で扱われているわけではなく、系統性や発展性が見られない。

また、「季節の歌」「景色・情景の歌」では、全ての題材が1題材1楽曲で構成されている。これらの題材全てで共通教材が扱われている。このことは、題材に組み込めなかった共通教材を扱うためというよりも、共通教材を楽曲として扱うことを意図したものと考えられる。「生活経験的なまとまりの主題による題材」は上述の「季節の歌」「景色・情景の歌」に加え、「友達と歌う」でも見られる。

##### 2. 『中学音楽 音楽のおくりもの』

本節では、教育出版発行『中学音楽 音楽のおくりもの』について分析する。以下の表7は、学年ごとに、扱われている題材の主題について、題材数をまとめたものである。

表7 平成15年発行『中学音楽 音楽のおくりもの』に見られる題材の種類

学年	リズム・拍	旋律	和音	音色	曲想・情景	歌詞と音楽	声歌い方・発	楽譜	合唱	演奏形態	ジャンル	楽器
第1学年	1		1		1	1		1		1	3	
第2学年		2			1	1	1	1	1		1	1
第3学年				2	2	1	1			1	2	

「曲想・情景」「歌詞と音楽」「ジャンル」の題材では、全学年で扱われている。第1学年では「リズム・拍」「和音」、第2学年では「旋律」のように、基礎的な内容が扱われているが、第3学年では見られなくなっている。しかし、第3学年で新しく現れる題材は「音色」のみであり、発展性は読み取れない。

1題材1楽曲で構成されている題材は、第3学年で2題材見られるのみで、少なくなっている。平成10年学習指導要領においては、中学校では共通教材の指定はないが、以前共通教材だった楽曲が1楽曲

含まれている。

## V 平成 20 年学習指導要領施行に伴って出版された教科書及び教師用指導書

### 『小学音楽 音楽のおくりもの』

本章では、教育出版発行の『小学音楽 音楽のおくりもの』を分析する。『小学音楽 音楽のおくりもの』では、題材と題材外の部分から構成されている。題材外の部分は、一部の共通教材、器楽の導入、創作活動など随時扱う必要のあるもので構成されている。以下の表 8 は、学年ごとに、扱われている題材の主題について、題材数をまとめたものである。

表 8 平成 23 年発行『小学音楽 音楽のおくりもの』に見られる題材の種類

学年	リズム・拍	楽譜・調	音色	曲想	ジャンル	アンサンブル	歌声	和音	演奏形態	歌詞と音楽	表現の工夫	曲の聴き方
第 1 学年	1	1	1	1		1						
第 2 学年	1	1	1	1	1	1						
第 3 学年	1		1		1	1	1				1	1
第 4 学年	1		1		1	1	1				1	1
第 5 学年					1	1		1	1	1	1	1
第 6 学年					1	1		1		1	1	1

全ての題材が、「音楽的なまとまりの主題による題材」で構成されている。全学年で扱われている題材は、「アンサンブル」の題材のみであり、その他の題材は部分的にのみ扱われている。特に、2 学年ごとに同じ題材が設定されている場合が多く、明確な意図が見られる。低学年では、「リズム・拍」「楽譜・調」「音色」など基礎的な内容を多く、高学年では「表現の工夫」「曲の聴き方」のように、複数の音楽的な要素を活用するような、発展的な内容が多く見られる。内容が移り変わりながら、発展しているものと見ることができる。

また、1 題材 1 楽曲で構成されている題材は、第 3 学年で 1 題材、第 4 学年で 3 題材、第 5 学年で 2 題材、第 6 学年で 1 題材見られる。これらの題材では、内実として「楽曲による題材」の構成を取っている。題材内の歌唱共通教材は、複数楽曲を含む「音楽的なまとまりの主題による題材」の 1 教材として扱われており、「楽曲による題材」のものは見られなかった。

## VI 音楽科教科書及び教師用指導書に見られる題材構成観

教科書構成上の特徴をまとめる。昭和 52 年学習指導要領期の教科書では、「主題による題材」と「楽曲による題材」を併記する構成を取っていた。どちらの題材構成で授業を進めるかは、教師が選択するようになっていた。『小学校音楽指導資料 指導計画の作成と学習指導』において、「主題による題材」と「楽曲による題材」を適宜併用することが記述されていたことに対応したものと考えられる。この時期では、両者の題材を適宜利用するために 2 種類の題材が示された。しかしながら、「主題による題材」の中にも、内実として「楽曲による題材」の構成を取っている題材も見られた。平成元年及び平成 10 年学習指導要領期の教科書では、2 種類の題材構成を併記した教科書はなくなり、「主題による題材」で構成していると記述されている。続く平成 20 年学習指導要領期の教科書では、題材と題材から切り離された部分から構成されている。題材外の部分には、共通教材が多く見られる。

共通教材の扱いについては、昭和 52 年及び平成元年の教科書では、鑑賞共通教材が「楽曲による題材」となっていることが多かった。これは、共通教材を教科書に掲載する必要があったが、うまく題材に組み込むことができなかったためと考えられる。平成 10 年学習指導要領期の教科書では、「楽曲による題材」として歌唱共通教材が扱われていた。以前の教科書では、多くの歌唱共通教材が題材の中に組み込まれていた。歌唱共通教材は、日本で古くから親しまれてきたもので、受けついでいく歌であるため、楽曲として重視するという意味から、単独での扱いが増加しているものと考えられる。平成 20 年学習指導要領期

の教科書では、題材外の部分に、歌唱共通教材が多く見られる。これは、学習指導要領で共通教材の取り扱いが増加したことや、共通教材を楽曲として重視するという観点から、楽曲を単独で扱ったものと考えられる。

題材の主題について見ると、昭和52年の教科書では、同じ学年の中で同じ種類の主題が複数扱われていることがあり、集中して扱う内容であると見ることができる。一方、全学年を通して扱っている題材は少なく、題材が移り変わっている。平成元年及び平成10年学習指導要領期の教科書は、系統性や発展性ははっきりしない。平成20年学習指導要領期の教科書では、題材の主題が2学年ごとにまとまりをもっている。また、低学年では基礎的な内容を扱い、高学年では発展的な内容を扱っていることから、題材が移り変わりながら発展しているものと見ることができる。

昭和55年前後に、新しい題材構成の考えが出されたが、「主題による題材」の計画の中にも「楽曲による題材」が見られたり、系統性・発展性が重視されながらも、それが見られないなど、不十分な点が見られた。続く平成元年及び平成10年学習指導要領期の教科書では、依然として系統性が見られなかった。また、ほとんどの「楽曲による題材」が、歌唱共通教材を楽曲とした題材であった。平成20年学習指導要領期の教科書では、題材の2学年ごとのまとまりや、移り変わりながら発展している点で、発展性が見られた。これは、主題による題材の利点が十分に生かされた教科書であると言える。また、平成10年学習指導要領期の教育出版の教科書で見られた共通教材の扱い方が、さらに進み、題材外として計画されていた。内容としてのまとまりがあるもののみを「題材」と呼び、共通教材のように楽曲として単体で扱うものについては、題材とは呼んでいないことが分かる。これまでは、すべての教材や時間は題材に属するものであったことから考えると、新しい題材構成観であると考えられる。

## Ⅶ おわりに

昭和55年から始まった「主題による題材」は、近年に至るまで、その利点が十分に生かされてはならず、平成23年の教科書において、ようやく明確な系統性が見られるようになった。また、これまでの教科書は、年間の全時間、全教材が題材に属するものであったが、平成23年の教科書では単に楽曲を扱ったり、単に活動するといった時間を題材外と分類している。このように、必ずしも題材化されたものによってのみ教育課程が編成されるわけではないという点は、題材構成観の史的変遷において新たな一面を呈しているといつてよい。

本研究では、教育出版発行の教科書のみを扱った。また、平成20年学習指導要領に対応した教科書の教師用指導書については、小学校教科書のみを扱った。したがって、本研究で扱っていない資料が複数存在している。その他の教科書、特に今後出版される中学校音楽科教科書を分析することで、平成20年改訂学習指導要領によって変化する題材構成観をより明確にすることができるであろうと考える。

## 引用・参考文献

- 1) 文部省編『小学校音楽指導書』教育芸術社、1960、p.9。
- 2) 文部省編『小学校音楽指導資料 指導計画の作成と学習指導』教育芸術社、1980、pp.16-17。
- 3) 高須一「音楽科教育における題材構成の基本的問題(3)」『教育学研究紀要 第二部』第37巻、中国四国教育学会、1991、pp.337-342。
- 4) 三村真弓、川邊昭子、福田秀範、中村将之、青原栄子、大橋美代子、吉富功修、徳永崇、長澤希「音楽リテラシー育成のための基礎的研究(2)－小学校音楽科教科書のカリキュラムの検討を中心に－」『学部・附属学校共同研究紀要』第38号、2010、pp.143-148。
- 5) 金本正武、坪能由紀子編『平成20年度版小学校学習指導要領ポイントと授業づくり音楽』東洋館出版社、2009。

## 分析対象教科書・教師用指導書

### Ⅱ 昭和52年学習指導要領施行に伴って出版された教科書及び教師用指導書

- ・教育出版音楽編集部編『小学音楽1 教師用指導書』教育出版、1980。
- ・教育出版音楽編集部編『小学音楽2 教師用指導書』教育出版、1980。

- ・教育出版音楽編集部編『小学音楽 3 教師用指導書』教育出版, 1980。
- ・教育出版音楽編集部編『小学音楽 4 教師用指導書』教育出版, 1980。
- ・教育出版音楽編集部編『小学音楽 5 教師用指導書』教育出版, 1980。
- ・教育出版音楽編集部編『小学音楽 6 教師用指導書』教育出版, 1980。
- ・教育出版音楽編集部編『中学音楽 1 教師用指導書 指導編』教育出版, 1981。
- ・教育出版音楽編集部編『中学音楽 2 教師用指導書 指導編』教育出版, 1981。
- ・教育出版音楽編集部編『中学音楽 3 教師用指導書 指導編』教育出版, 1981。

### Ⅲ 平成元年学習指導要領施行に伴って出版された教科書及び教師用指導書

- ・教育出版編集局編『新版 おんがく 1 教師用指導書指導 解説編』教育出版, 1992。
- ・教育出版編集局編『新版 音楽 2 教師用指導書指導 解説編』教育出版, 1992。
- ・教育出版編集局編『新版 音楽 3 教師用指導書指導 解説編』教育出版, 1992。
- ・教育出版編集局編『新版 音楽 4 教師用指導書指導 解説編』教育出版, 1992。
- ・教育出版編集局編『新版 音楽 5 教師用指導書指導 解説編』教育出版, 1992。
- ・教育出版編集局編『新版 音楽 6 教師用指導書指導 解説編』教育出版, 1992。
- ・教育出版株式会社編集局編『新版中学音楽 1 教師用指導書』教育出版, 1993。
- ・教育出版株式会社編集局編『新版中学音楽 2・3 上教師用指導書』教育出版, 1993。
- ・教育出版株式会社編集局編『新版中学音楽 2・3 下教師用指導書』教育出版, 1993。

### Ⅳ 平成 10 年学習指導要領施行に伴って出版された教科書及び教師用指導書

- ・教育出版株式会社編集局編『小学音楽 おんがくのおくりもの 1 教師用指導書 指導編』教育出版, 2002。
- ・教育出版株式会社編集局編『小学音楽 音楽のおくりもの 2 教師用指導書 指導編』教育出版, 2002。
- ・教育出版株式会社編集局編『小学音楽 音楽のおくりもの 3 教師用指導書 指導編』教育出版, 2002。
- ・教育出版株式会社編集局編『小学音楽 音楽のおくりもの 4 教師用指導書 指導編』教育出版, 2002。
- ・教育出版株式会社編集局編『小学音楽 音楽のおくりもの 5 教師用指導書 指導編』教育出版, 2002。
- ・教育出版株式会社編集局編『小学音楽 音楽のおくりもの 6 教師用指導書 指導編』教育出版, 2002。
- ・教育出版株式会社編集局編『中学音楽 音楽のおくりもの 1 教師用指導書 解説編』教育出版, 2003。
- ・教育出版株式会社編集局編『中学音楽 音楽のおくりもの 2・3 上教師用指導書 解説編』教育出版, 2003。
- ・教育出版株式会社編集局編『中学音楽 音楽のおくりもの 2・3 下教師用指導書 解説編』教育出版, 2003。

### Ⅴ 平成 20 年学習指導要領施行に伴って出版された教科書及び教師用指導書

- ・教育出版株式会社編集局編『小学音楽 おんがくのおくりもの 1 教師用指導書 指導編』教育出版, 2011。
- ・教育出版株式会社編集局編『小学音楽 音楽のおくりもの 2 教師用指導書 指導編』教育出版, 2011。
- ・教育出版株式会社編集局編『小学音楽 音楽のおくりもの 3 教師用指導書 指導編』教育出版, 2011。
- ・教育出版株式会社編集局編『小学音楽 音楽のおくりもの 4 教師用指導書 指導編』教育出版, 2011。
- ・教育出版株式会社編集局編『小学音楽 音楽のおくりもの 5 教師用指導書 指導編』教育出版, 2011。
- ・教育出版株式会社編集局編『小学音楽 音楽のおくりもの 6 教師用指導書 指導編』教育出版, 2011。